

平成28年度終了課題 第3回研究成果報告会



研究総括 上田 泰己

平成28年 **11月1日(火)・2日(水)** **入場無料**

東京大学理学部1号館 2F小柴ホール (本郷キャンパス)

申込み方法:ご氏名、ご所属を記入し、件名「申込み」として、
E-Mail:assistant@synbio.jst.go.jp(事務局)
へお送りください。締切:10月27日(木)
URL | <http://www.jst.go.jp/presto/synbio/>



平成23年12月に発足した「細胞構成」研究領域は、この度、最終年度となり、平成23年度採択5年型3名、大挑戦型2名および平成25年度採択15名の計20名のさきがけ研究者成果報告会を開催する運びとなりました。本研究領域では、分子の設計から個体システムの合成まで多岐にわたる構成的アプローチによって生命の理解と幅広い応用を目指しております。今回、報告するさきがけ研究者は、これまで、6回から9回の領域会議での活発な討議を踏まえ、それぞれの専門分野を超えて、独創性のある研究成果に発展させて参りました。この度、その成果を発表いたします。

また、大阪大学大学院基礎工学研究科 浅田 稔先生および大阪大学工学研究科 河田 聡先生をお招きし、特別講演をお願いしております。ご期待ください。さきがけ研究の成果の一般公開にあたり、幅広い見地から評価を頂きますとともに、成果の活用展開への機会といたしたく、奮ってご参加いただきますことをお願いいたします。

11/1(火)

13:00~13:10 開会の辞 (上田総括)

13:10~14:00 特別講演



「神経ダイナミクスから社会的相互作用に至る構成的発達科学の挑戦」

浅田 稔 大阪大学大学院 工学研究科 教授

14:10~15:10

「高次脳機能情報処理の再構成に向けた恐怖記憶の読み取りと操作」

揚妻 正和

「生物時計中枢における細胞ネットワークの計測・制御と再構成」

榎木 亮介

「デグロン変異細胞創出のための基盤技術開発」

鐘巻 将人

15:20~16:20

「細胞膜模倣リン脂質非対称膜による自己再生産可能な人工細胞モデルの創成」

神谷 厚輝

「分裂様式の操作による細胞運命の制御と個体構築原理の追究」

清光 智美

「細胞機能の制御・設計に向けたアロステリックタンパク質の人工設計」

古賀 信康

16:30~17:30

「光の色を使った細胞内情報伝達因子の時空間的に精密な制御」

小柳 光正

「血流による血管ネットワークの制御と再現」

佐藤 有紀

「精子幹細胞の寿命と精子形成への寄与の動態解明」

篠原 美都

17:30~18:30 終了者ポスター発表

11/2(水)

9:30~10:30

「細胞形状と運動の自己組織的挙動の理解と操作」

澤井 哲

「バクテリア再構成法の開発」

田端 和仁

「カイメンが工学的に優れた骨格構造を自律的に構築するメカニズムの解明」

船山 典子

10:40~11:20

「分子輸送から解く生命の起源：構造、情報、輸送の動的結合の解明と新たな分子操作技術の確立」

前多 裕介

「細胞分裂周期のinvitro再構成への挑戦」

持田 悟

11:20~13:00 昼食 / 終了者ポスター発表

13:00~13:50 特別講演



「光を止めてナノを見る」

河田 聡 大阪大学大学院 工学研究科 教授

14:00~15:00

「力のベイズ推定から解き明かす組織の変形と力」

杉村 薫

「神経スパイク列の再構成から迫る神経活動依存的な神経回路形成機構の解明」

竹内 春樹

「多細胞系からなる複雑なヒト臓器の人為的構成」

武部 貴則

15:10~16:10

「なぜ夢を見るのか～トランスジェニックマウスによるレム睡眠の操作と解析～」

林 悠

「非侵襲脳刺激による脳領域間の情報伝達効率の制御」

森島 陽介

「電界誘起気泡インジェクションメスによる分子操作と再構成」

山西 陽子

16:10~16:20 講評 (上田総括)

16:20~16:30 閉会の辞 (科学技術振興機構)

東京大学
本郷キャンパス

